

高齢者の通院サポート

勇払地区で移送事業

苦市社協

22年度開始、来月からトライアル

苦小牧市社会福祉協議会は2022年度から、市内勇払地区在住の高齢者を対象に、市内の病院へ送迎する移送サービス事業をスタートする。勇払地区の公共交通機関を利用して通院することが困難なため、2月から来年3月末をトライアル期間(試行期間)とする考えだ。

運転ボランティアも募集

市社協は18年度から同地区で、あんしん生活サポート事業の一環として勇払座談会を継続的に開催。高齢化や人口減少が進む中、住民と課題を確認し、共有し



呼び掛ける職員

てきた。この中でバスやJRの減便、日本製紙北海道工場勇払診療所の閉鎖、タクシーの減少などが、高齢者の通院に大きな影響を及ぼしていることが分かった。市社協は、高齢者の通院をサポートするために、運転ボランティアを募集している。ボランティアは、高齢者の通院をサポートするために、運転ボランティアを募集している。ボランティアは、高齢者の通院をサポートするために、運転ボランティアを募集している。

利用対象者は身体上、公共交通機関の利用が困難で、年金などの収入が月額160万円(夫婦の場合220万円)程度までの65歳以上の住民。介護保険制度における乗降介護の移送支

援を受けることができない人なども対象だが、移送車両がリフト付きではないため車いすユーザーには対応しない。

移送範囲は勇払から市立病院(清水町)、王子総合病院(若草町)程度までを想定。市社協への事前登録が必要で、利用希望日の1週間以上前までに伝える。市社協がドライバーと調整して利用者へ連絡。移送当日に事前購入のチケット(1往復200円)をドライバーに手渡す。利用料は運転

ボランティアへ商品券などで還元する。市社協はコロナ禍で住民説明会を開くことができないため、民生委員や市東地域包括支援センターと協力して周知を図る考えで「トライアル期間で需要をみながら、より良い体制を目指したい」と話している。

同事業の実施に向けて市社協はボランティアのドライバーを募集中だ。条件は50歳以上で普通自動車免許を取得し、運転歴が3年以上の市民。19日午前10時半から市民活動センターで開く「運転ボランティア安全運転講習会」を受講して登録する。先着10人。希望者は電話、ファクス、メールで申し込む。講習会の申し込み、問い合わせは市社協地域福祉第1係 電話0144(32)7111、ファクス0144(34)8141、メール sc@tomakomai-shakyu.or.jp。